



潮騒の中、夏季合宿行われる

2006年9月3日～4日

7月の定時総会で新理事長になられた中田直人弁護士の足の弁を考え、茨城の大洗海岸で、恒例の夏季合宿が開催されました。台風9号が日本列島に近づいているとの天気予報は、岸壁に打ち寄せる高い波しぶきを見てやっと信じたくらい、晴れ渡った青空に迎えられ、会場に集合しました。

1時30分から、東京新聞の半田滋記者による「米軍再編が呼び込む憲法9条改悪～ロードマップを切る」と題する講演がはじまりました。

9・11の多発テロ以降の米軍の動きと日本政府の対応を時系列にそって、取材で確認した事実を折り込みながらのお話しに、メモがみつけないほど面白く、全員が飲み込まれて行きました。

自衛隊が全て親米かというところから、海上自衛隊、航空自衛隊、陸上自衛隊で、各々かなり温度差があること。北朝鮮の脅威などは、マスコミ受けの虚構に近く、ミサイル発射のときも、防衛関係者は普段の日と特にかわりはなかったなど、「へえー」とか「ホ



ー」とか感心している間に、時間がきてしまいました。

軍事オタク的な質問から、地球規模の疑問など、数多くの質問に答える形で、議論がさらに深められました。



夕食を囲んでの懇談会は、日本酒が3本も差し入れられ、飲んでも飲んでもつきないほどでした。

2日目は、早稲田大学の浦田賢治元教授からの『「アメリカ帝国の悲劇」 アメリカの知識人が考えていること』と題する講演ではじまりました。アメリカ帝国主義の現象として、自国内の極度の貧困状態、移民規制など自国内での階級支配と人種差別の構造を実例を交えての説得力あるお話しをうかがいました。



そのあと、秋からの活動についての議論に入りました。改憲阻止と教育基本法改悪反対の闘いを軸に、司法制度研究集会の開催とテーマの設定などについて討論しました。夏季合宿で学んだことを活かし、さあ、活動開始です。

2006年度夏季カンパ・賛助会費

ご協力に感謝!

恒例とはいえ、ご出費の多いこの時期に、「カンパの要請文」を、祈るような気持ちで会員・読者に送らせていただいておりますが、カンパや賛助会費のご協力なしで運営可能な協会財政の確立は、まだまだです。

今回も、全国の会員・読者・事務所から多くのご厚志が寄せられました。心から御礼申し上げます。お一人お一人に御礼を申し上げなければなりません、この通信欄にご芳名を記して、感謝の気持ちに代えさせていただきます。ありがとうございました。
(2006.9.20現在、敬称略、50音順)

秋山 賢三	浅井 淳郎	安倍 晴彦	天宮 利幸	新垣 勉	飯沼 洋子	石口 俊一
石田 明義	石松 竹雄	稲見 友之	猪狩 久一	猪股 秀章	井之脇 寿一	岩城 邦治
岩橋 宣隆	岩場 達夫	右崎 正博	牛山 積	臼井 満	宇都宮 健児	浦野 広明
江藤 价泰	榎本 信行	大国 和江	大久保 賢一	大山 美智子	岡田 和義	小笠原 基也
小川 政亮	奥津 年弘	小田 切達	小田 成光	織田 信夫	小野 寺照東	小野 寺利孝
尾林 芳匡	尾山 宏	海部 幸造	甲斐 道太郎	梶原 守光	金子 修	椋島 敏雅
鎌形 寛之	川上 有	川崎 浩二	河田 英正	河西 龍太郎	川又 昭	神田 高
木嶋 日出夫	北澤 貞男	北野 弘久	木村 壮	草薙 純一	工藤 勇治	久米 弘子
藏本 怜子	小池 幸造	河野 善一郎	小関 傳六	湖東 京至	古波 倉正偉	小林 赫子
今 重一	近藤 幸夫	齊藤 耕	坂本 修	坂元 洋太郎	坂元 和夫	佐々木 良博
佐藤 昭夫	佐藤 和利	佐藤 哲之	佐藤 信三	佐藤 むつみ	佐藤 由紀子	澤藤 統一郎
四位 直毅	柴田 茲行	島林 樹	下東 信三	庄司 慈明	菅野 弘義	杉井 静子
杉尾 健太郎	杉山 茂雅	鈴木 経夫	鈴木 秀幸	関 幸磨	関本 秀治	千場 茂勝
高崎 暢	高崎 裕子	高藤 敏秋	高橋 忠栄	高橋 清一	高橋 宏子	高山 俊吉
竹澤 哲夫	田中 輝和	環 直彌	津田 玄児	津村 健太郎	鶴見 恒夫	登野 城安俊
富永 由紀子	富森 啓兒	鳥生 忠佑	土井 幸枝	中家 肇	中西 一裕	中西 裕人
中村 晃	中村 和雄	中本 源太郎	仲山 忠克	永尾 廣久	二上 護	西村 欣郎
新国 信	萩野 弘康	林 伸豪	林 秀信	馬場 秀幸	肘井 博行	日隅 一雄
平井 昭夫	平岡 建樹	広渡 清吾	福井 茂夫	淵上 隆	本田 良男	前田 朗
前田 豊	馬杉 栄一	松井 憲二	松岡 肇	間部 俊明	三浦 元彦	水谷 英夫
水口 大彦	南 典男	宮本 平一	守川 幸男	森田 太三	守屋 克彦	安富 巖
山田 幸彦	山本 政明	吉川 滉	芳澤 弘明	吉村 駿一	吉本 貢	米倉 洋子
萬 實	脇田 吉隆	渡辺 昭				

大島 アイデック 測量(株)
京橋 共同法律(事)
三多摩 法律(事)
城北 法律(事)
東京 法律(事)
東京 東部 法律(事)
名古屋 南部 法律(事)
増田 法律(事)
代々木 総合法律(事)

北大阪 総合法律(事)
岐阜 合同法律(事)
滋賀 第一法律(事)
仙台 中央法律(事)
東京 北 法律(事)
東京 南部 法律(事)
奈良 合同法律(事)
三重 合同法律(事)
和歌山 合同法律(事)

京都 法律(事)
呉 合同法律(事)
渋谷 共同法律(事)
千葉 第一法律(事)
東京 合同法律(事)
東京 本郷 合同法律(事)
八王子 合同法律(事)
水戸 翔合同法律(事)

京都 第一法律(事)
五反田 法律(事)
旬報 法律(事)
天王寺 法律(事)
東京 中央法律(事)
長野 中央法律(事)
北海道 合同法律(事)
武蔵野 法律(事)



小泉首相の靖国参拝に抗議する声明発表

協会では、再び戦争の惨禍を繰り返さぬよう誓うべき8月15日に、憲法を無視し靖国神社に参拝した小泉首相に対し、ただちに理事長声明を発表し、その行為に強く抗議するとともに、近隣諸国をはじめ全世界の人々との平和への誓いを改めて確認いたしました。(声明文は、「法と民主主義」411号のインフォメーションに掲載してあります。)



全法務労働組合との懇談会を企画

る10月5日、全法務労働組合中央本部のみなさんとの懇談会を予定しています。昼食をご一緒にしながら、法務省をご案

内いただき、組合事務所で懇談する予定です。ご参加希望者は、11時30分に法務省正門前にご集合下さい。

担当者・有村一巳 副理事長



「法民」特集予告

8.9月合併号は、「教育基本法「改正」案の本質です。「日の丸・君が代」強制は憲法違反との画期的な9月21日の東京地裁判決と合わせてお読み下さい。まもなくお手元にとどくと思います。

10月号は、「天皇制の今」です。歴史的背景から、解きほぐす企画です。11月号は、「中国残留孤児」問題と「共謀罪」の2本立てです。12月号は、「安倍政権の「美しい国」とは」を予定しています。企画へのご希望をお聞かせ下さい。

(「法と民主主義」編集委員会)